

進路だより

2024年2月1日号

第1学年

徳島県立城北高等学校進学課



今からできる！

共通テストで成功する8つの戦略



1年生のみなさん、予餞会も終わり、3年生のあとをみなさんが引き継ぐ時が来ました。1年生としての残り約2か月をどのように過ごすか、じっくり考えた上で行動に移してほしいと思います。3年生は大学入学共通テストを終え、受験本番を迎えています。大学入試の第一関門ともいえる共通テストで、高得点を獲得することができれば、国公立大のみならず、この試験を利用する難関私立大への道も大きく開けます。大学入学共通テストで確実に高得点をとるためには、“正しい努力”が必要です。そこで押さえてほしいのが、ここで紹介する8つの戦略です。これらの戦略を軸に、日々正しい努力を積み重ねていきましょう。

- 戦略1 基礎力を深める～土台が盤石なら、どんな問題でも突破口を見いだせる～
- 戦略2 思考力を鍛える～新タイプの思考力問題に対応できる学力をつける～
- 戦略3 初見対応力を養う～初めて見る問題に対処できるかが本番の得点を左右する～
- 戦略4 時間感覚を磨く～試験時間を効果的に使うための対策も早くから実行する～
- 戦略5 弱点を解消する～失点につながる学力の穴を埋め、貴重な得点を死守する～
- 戦略6 模試を活用する～本番のつもりで真剣に受け、受験後に復習する～
- 戦略7 本番に強くなる～模試などで本番の体験を十分に積み、対処方針を確立する～
- 戦略8 PDCAを回す～Plan→Do→Check→Action…で目標達成にアプローチ～

今回はこの中の戦略1・2について詳しく説明します。

戦略1 基礎力を深める

学力の土台・根幹である“基礎力”が盤石なら、想定外の問題が出されても、なんとか解法の糸口を見いだし、対応することができる。一方で学力の土台が弱いと、ちょっとした出題の変化にも対応できず「お手上げ」となってしまう。したがって、基礎力の充実共通テスト対策の最重要目標である。

しかし、ただ基礎知識を頭に叩き込んでも、共通テストでは通用しない。成功のかぎは、理解を徹底追求して基礎を“深める”こと。

丸暗記型の勉強は厳禁だ！右に示した学習法も参考にして、基礎力のさらなる深化を目指そう。

☆基礎力を“深める”学習法

- ◆理解する→覚える→問題を解くを1セットにして学習する
- ◆「まとめノート」を作成して、要点を自分の言葉で書き表す
- ◆複雑な内容は図や表にして、関連や流れを整理する
- ◆学んだことを他人に説明し、自分の理解度を検証する

戦略2 思考力を鍛える

思考力とは、簡単にいえば、「各科目の知識や技能を活用して（現実の社会・生活・学習の場面を想定した）問題の解決策などを考察する能力」といったもの。共通テストには、各科目ともこうした力を測る思考力問題が多数出題されており、その対策は高得点獲得の大きなかぎとなる。

次に示した5つの学習法をぜひ普段の学習や生活に取り入れてほしい。こうした学習を習慣化し、模試などの思考力問題を演習すれば、本番でも十分対応できるようになるはずだ。

☆思考力を鍛えるおすすめ日常学習法

◆問題形式にこだわらず、多様なタイプの問題を解く

共通テスト型にこだわらず、記述式問題などさまざまなタイプの問題を解く経験を通して、思考の引き出しが増え、思考力問題への対応力が上がる。

◆理解し、整理し、関連づけ、思考に使える知識を増やす

思考とは、脳が記憶した情報を用いて問題の解決策を探る作業のこと。思考に知識は欠かせないが、断片的な知識は役に立たない。理解し、整理し、関連づけ、知識をネットワーク化することを意識しよう。

→裏面に続きます

◆典型問題を演習して解法や知識活用の基本を学ぶ

各科目の基本を押さえた典型問題に取り組み、その解法プロセスや公式など必要な知識の使い方を学ぶことも大切だ。

◆友人とプレゼンテーション&ディスカッション学習をする

対話場面型の問題（グループワークや議論の場面などを再現した問題）の対策にもなり、人に説明することで、自分の理解度も確認できる。

◆新聞やニュースを見ることや読書を習慣化する

現実社会の問題をテーマに、科目の知識・技能で解決策を考えさせる思考力問題に対応するには、新聞やニュース、本などからテーマに関する知識を得ておくことも効果的。問題を考える前提となる読解力も鍛えられる。

（以上、「大学受験パスナビ」より一部抜粋）

学年末考査に向けて！

『共通テストで成功する戦略！』を読んだ後は、これからの目標を立てましょう。その中で大きな目標の1つとなるのは学年末考査です。

～学年末考査が大切である理由～

1. しっかりテスト勉強をすることで、3学期の学習内容を確実に修得できる。
2. テストを意識することで、学習を中心とした生活のリズムを確立できる。
3. 進学・就職に関わる、1年間の評定平均値を決める最後のチャンスになる！！

○評定平均値とは…

各教科において、履修した科目の5段階評価の評定を科目数で割ります。1年生～3年生の全科目の評定の合計を全科目数で割ったものが「全体の評定平均値」になります。

（例） 数学の場合 数Ⅰ…評定5 数Ⅱ…評定4 数Ⅲ…評定4 数Ⅳ…評定3

この生徒の数学の2年までの評定平均値 $\text{数学} (5 + 4 + 4 + 3) \div 4 = \boxed{4.0}$

○各大学・学校が推薦入試で成績基準としている「全体の評定平均値」（R5年度）

学校	学部・学科	入試形態	評定平均値
徳島大学	総合科学部	共テ無し推薦・共テ有り推薦	3.8以上
		共テ無し推薦 (英語能力重視型)	3.8以上 * 英語 4.3以上
	理工学部(昼)	共テ有り推薦	3.5以上
香川大学	生物資源産業学部	共テ有り推薦	* 理科 4.0以上
	経済学部	共テ無し推薦・有り推薦	4.0以上
高知大学	農学部	共テ有り推薦	3.5以上
	医学部 看護学科	共テ無し推薦	4.0以上
高知工科大学	教育学部 幼児教育など	共テ有り推薦	3.8以上
	全学群	共テ無し推薦	4.0以上
岡山大学	教育学部	共テ無し推薦	4.3以上
	工学部	共テ無し推薦	4.3以上
神戸大学	経済学部	共テ有り推薦	4.0以上
	経営学部	共テ有り推薦	4.0以上
徳島県立 総合看護学校	第一看護学科	推薦入試	3.8以上
徳島医療福祉 専門学校	理学療法学科	高等学校長推薦入試	3.0以上
	作業療法学科		

注：共テ有り推薦＝共通テストを課す推薦入試、共テ無し推薦＝共通テストを課さない推薦入試

自分の志望校の成績基準を調べてみよう！